

第3回 産業応用部門論文委員会主査会議事録（案）

1. 日時 平成18年6月13日(火) 9:30~12:20

2. 場所 電気学会第2会議室

3. 出席者(敬称略)

* 下線付きは出席者

深尾 (編修長), 久保田 (編修広報委員会副委員長, 明治大学), 大崎 (研究調査運営委員会副委員長, 東京大学), 竹下 (前編修長補佐, 名古屋工業大学), 大石 (編修長補佐, 長岡技術科学大学) 上田 (D1 主査, 苫小牧高専), 佐藤 (D1 副主査, 千葉大学, 記録), 泉井 (D2 主査, 三菱電機), 岩路 (D2 副主査, 日立製作所), 井出 (D3 主査, 日立製作所), 古関 (D3 副主査, 東京大学), 林 (編修広報委員会委員長, 青山学院大学), 清水 (IPEC 特集号ゲストエディタ, 首都大学東京), 松井 (前 D1 主査, 東京工芸大学)

4. 提出資料

- 3-0 第3回産業応用部門論文委員会主査会 議題
- 3-1 第2回産業応用部門論文委員会主査会議事録(案)
- 3-2-1 産業応用部門誌論文査読マニュアル(修正案)
- 3-2-2 平成17年度返送論文の返送理由の分析(暫定版)
- 3-2-3 論文等査読の申し合わせ
- 3-2-4 査読フローに関する問題
- 3-3-1 特集論文運営マニュアル(案) Ver.4
- 3-3-2 特集論文の事務手続き(案)
- 3-4-1 共通英文誌の論文査読の扱い(メールコピー)
- 3-4-2 共通英文誌平成19年3月号D部門担当企画「PMモータドライブとその応用(仮)」へのご協力をお願い
- 3-5 電子査読システムの運用状況

5. 議事

- 5.1 資料3-1の前回議事録について、内容を確認し了承した。議事録に関連して、電子査読システムの修正については村上先生に依頼済みであり対応を待っていること、編修方針アドホック委員会が7月18日に開催予定であることが紹介された。
- 5.2 竹下前編修長補佐より退任の挨拶があった。今後、しばらくの間は引き続き出席していただくことを確認した。
- 5.3 深尾編修長より、D3副主査の古関先生のご都合により、D3副主査を信州大学の水野勉先生に交代し、古関先生には引き続きD3幹事に留任いただくこととしたいとの説明があり、これを了承した。
- 5.4 松井前D1主査より、資料3-2-1の査読マニュアル案について説明があった。「掲載決定後・・・」の表現は、この部分だけ突出して具体的過ぎるので少し一般的にする。また、投稿時に著者がチェックできるようリストを作成しておくことと査読のポイントが絞られて査読の質が向上するのではないかとの意見があった。本件に関して、深尾編修長より、本日の議論と今後の意見交換の結果を踏まえて、次回までに成案を得たいとの意向が示された。また、査読マニュアルにあわせて、主査や幹事の業務引継ぎに関しても明文化すべきであることを確認した。
- 5.5 深尾編修長より、資料3-2-2に基づき、過去の返送論文47件(データ不備があり45件)の返送理由を、技術・学術への寄与、明白な誤り、創造性・新規性・有用性、既発表、完成度の5つの観点から分析した結果について説明があった。返送文の内容、書式が不統一であり、何らかの対策

が必要との考えが示された。この分析結果を取りまとめてニュースレターに掲載するなど、投稿者へのフィードバックの方策を考えることとした。

- 5.6 資料 3-2-4 に基づいて、岩路 D2 副主査より、現状の査読フローにおいて、一方の査読者が D 判定を出して最初の判定が割れた場合の第 3 査読者の取り扱いについて問題提起があった。議論の結果、現状のフローは変えないが、第 3 査読者には最初の査読での論点を伝えるべきことを確認した。詳細については、事例ごとにケースバイケースで対応せざるを得ないが、3 人目の査読者に対して、その時点までの査読の経緯と査読のポイントを的確に伝えるための説明文を送るようにすることとした。なお、ケースバイケースでの対応の中で通常とは異なる処理を行った場合は、その旨を著者に説明する。
- 5.7 資料 3-3-1 に基づいて、特集号の編修に関する運営マニュアルの修正案について、欠席の清水 IPEC 特集号エディタに代わって、竹下前編修長補佐より説明があった。次回幹事会までに意見集約を図り成案を得ることとした。
- 5.8 資料 3-4-1 に基づいて、久保田先生より英文共通論文誌の査読者決定ルールなどについて問題提起があり、議論の結果、以下の点を確認した。
- ・ エディタは古関先生にお願いしているが、副主査を水野先生に交代したことに伴い、エディタも水野先生に交代する。
 - ・ メールによる電子投稿で受け付けることになっており、編修長補佐が代理投稿して電子査読システムでの処理に載せる。
 - ・ 英文共通論文誌の査読依頼があった場合は、エディタの水野先生から D 1 ~ D 3 主査へ査読者選定の協力を要請する。
- 5.9 資料 3-4-2 に基づいて、英文共通論文誌の平成 19 年 4 月号に計画している「PM モータドライブとその応用 特集号」のゲストエディタの人選について議論し、久保田先生に担当いただくこととした。特集号の論文では、参考文献を十分取り上げ、関連分野の状況を十分サーベイしていただくように著者に依頼することを確認した。
- 5.10 資料 3-5 に基づいて、竹下前編修長補佐より、電子査読システム運用状況について説明があった。
- 5.11 A 部門より、D 部門が採用している電子査読システムを試用し、論文 40 件で仮運用したいとの希望が寄せられているとの説明があった。事務処理などについては、関係する大石編修長補佐、村上先生の下承が得られており、この申し出を了承することとした。この仮運用に伴って発生する費用(アルバイト料、システムの保守料など)については A 部門が負担することになっている。
- 5.12 編修会議、編修広報委員会関係では、編修方針アドホック委員会が活動を開始するとの紹介があった。また、研究調査運営委員会関係では、各技術委員会へ、共通英文論文誌への協力と技術委員会を通じた論文の投稿勧誘について要請を行ったとの紹介があった。

6. 次回開催予定

7月18日(火) 13:30 ~ 15:30

以上